



▲活気ある商店街を目指して—晴見町商店街—

平成17年第4回定例会

府中市商店街の活性化に関する条例など 32議案を審議

平成17年第4回定例会は、12月5日から20日までの16日間の会期で開催されました。
市長提出議案は、府中市商店街の活性化に関する条例など30件を審議した結果、すべて可決されました。
議員提出議案は、子どもの安全確保に関する要望決議など2件で、審議の結果、可決されました。
また、請願1件、陳情8件が審議されました。

商店街の活性化のため

府商事中店業市会者の責務を規定

市長から、「府中市商店街の活性化に関する条例」についての議案が提出され、議会で審議した結果、全会一致で可決されました。

この条例は、商店街の活性化に関し、必要な事項を定めることにより、商店街の基盤強化等を図り、活力ある地域社会の実現に寄与することを目的に制定されたものです。

本議案は、厚生経済委員会で審査され、委員から、「商店街への加入は、地元経済の活性化が図られるだけでなく、防犯対策や環境保全活動の推進、コミュニティの醸成に寄与するものであり、ぜひ制定し、PRをしてほしい」等の意見がありました。
この条例は、平成17年12月26日から施行されました。

意見書 国等へ提出

◎公団家賃の値上げ見合わせと高家賃の引き下げ、居住の安定を図る国会決議の全面実現を求める意見書
都市再生機構は、公団住宅の継続居住者の家賃を、3年ごとに見直すとして、平成18年4月から改定するために家賃の見直しを行っている。

決議

◎子どもの安全確保に関する要望決議
小学校児童が被害に遭う痛ましい事件が相次いでいる。このような中、本市及び教育委員会では、防犯ブザーの配布による安全管理に加え、全公立小学校への警備員の配置等を実施している。

商店会の役割としては、安全かつ安心で、快適な環境を創出し、にぎわいと魅力ある商店街の形成に努めなければならぬこと。地域の諸団体や市民及び市と連携して、商店街の課題に主体的に取り組むよう努めなければならない等としています。

また、市の役割としては、商店街の活性化のための施策や、事業者、商店会、地域の諸団体及び市民の連携を推進

本市議会は、政府及び関係機関に対し、18年4月に予定されている家賃改定に際し、継続家賃の値上げは見合わせ、高家賃を引き下げるなど3項目を要望する。

また、市の役割としては、商店街の活性化のための施策や、事業者、商店会、地域の諸団体及び市民の連携を推進

また、市の役割としては、商店街の活性化のための施策や、事業者、商店会、地域の諸団体及び市民の連携を推進

また、市の役割としては、商店街の活性化のための施策や、事業者、商店会、地域の諸団体及び市民の連携を推進